

調査名 市立あやめ台小学校地質調査委託

No. 1 試錐調査書

調査地名(位置) 千葉市園生町地内

調査年月日 昭和49年4月23日から4月24日まで

孔内水位	観測日時	備考
m	日 時	
m	日 時	
m	日 時	

孔口標高	T.B.M-028 m	調査深度	20.50 m
試錐方法	ロータリー式	試錐孔径	100~65 mm
試料採取方法	レイモントサンプラー		

主任技術者	
現場責任者	
試錐担当者	

孔掘 内進 水月 位日	深度 目盛 (m)	層面 標高 (m)	層面 深度 (m)	地盤(岩相)状態			性状	乱さ ない 試料	標準貫入試験 (JIS A 1219)					N値~深度グラフ				
				層 厚 (m)	記 号	名 称 色 彩			記 事	締 り 又 は 硬 さ の 程 度	採 取 深 度 (m)	試 料 番 号	試 験 深 度 (m)		N 値 (回/cm)	打 撃 回 数 (回) と 貫 入 量 (cm) の 関 係		
0	-0.20 -0.68	0.0	0.40			表土 楊灰	グラント、砂ローム混入。											
1						ローム	全体に砂を混入する。 含水量少い。	中位				1.15 1.45	6 30	2 10	2 10	2 10		
2	-2.38 -2.98	2.10	2.30			晒茶楊						2.15 2.45	6 30	2 10	2 10	2 10		
3	-3.68	3.40				粘土	上部含水多く粘性強 い。	中位				3.15 3.47	5 32	1 8	2 13	2 11		
4						茶楊	下層部に従い凝灰質 粘土状を呈す。 色調一定せず。	中位				4.15 4.45	6 30	2 10	2 10	2 10		
5	-5.78	5.50	2.80			砂混り 粘土	上部砂多い。 含水量多く半固結状を 呈す。 7.60m付近粘性あり。	中位				5.15 5.45	6 30	2 10	2 10	2 10		
6						黄灰						6.15 6.45	7 30	2 10	2 10	3 10		
7	-7.88	7.60	2.10			中砂	砂の粒子不均一で上 層部ロームをレンズ状 に介在する。	密な				7.15 7.48	3 33	1 13	1 11	1 9		
8						楊灰						8.15 8.43	50 28	14 10	20 10	16 8		
9												9.15 9.45	49 30	9 10	18 10	22 10		
10												10.15 10.44	50 29	13 10	22 10	15 9		
11							含水量少い。 雲母片若干混入。					11.15 11.45	47 30	10 10	16 10	21 10		
12												12.15 12.45	50 30	13 10	18 10	19 10		
13								中位				13.15 13.45	25 30	7 10	9 10	9 10		
14	-14.08	13.80	6.20									14.15 14.45	45 30	8 10	15 10	22 10		
15							粒子均一な細砂で 雲母全体に混入。 ロームレンズ状に 介在する。 含水少い。	非常に 密な				15.15 15.38	50 23	15 10	19 10	16 3		
16												16.15 16.41	50 26	13 10	20 10	17 6		
17												17.15 17.42	50 27	15 10	19 10	16 7		
18												18.15 18.45	50 30	12 10	18 10	20 10		
19												19.15 19.45	45 30	10 10	16 10	19 10		
20	-20.78	20.50	6.70									20.24 20.50	50 26	12 10	19 10	19 6		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		

試錐孔No. /

調査名 市立あやめ台小学校地質調査委託

調査地名(位置) 千葉市園生町地内

調査年月日 昭和 49年 4月 22日から 4月 23日まで

No. 2

試錐調査書

孔口標高	T.B.M-0.05m	調査深度	20.43 m
試錐方法	ロータリー式	試錐孔径	100~65mm
試料採取方法	レイモントサンプラー		

主任技術者	
現場責任者	
試錐担当者	

孔内水位	観測日時
m	日 時
m	日 時
m	日 時
m	日 時

備考
----

孔堀内進水月位日	深度目盛(m)	層面標高(m)	層面深度(m)	地盤(岩相)状態			性状	乱さない試料	標準貫入試験 (JIS A 1219)				N値~深度グラフ	
				層厚(m)	記号	名称			色	記号	採取深度(m)	試験深度(m)		N値(回/cm)
	0	0.05	0.0	0.40	表土	腐灰	グラント、砂、ローム							
	1	0.75	0.40		ローム	暗茶褐	含水少ない 全体に砂混入	中位						
	2													
	3	3.15	2.80	2.40		乳灰	上部粘着性強い 以深は含水少なく 凝灰質粘土状を呈す 色調一定せず	中位						
	4	3.95	3.60			粘土								
	5					茶褐								
	6	6.15	5.80	5.00		砂混り粘土	含水量多く、全体に 半固結状を呈す 下部粘性強い	中位						
	7					黄褐								
	8	8.45	8.10	7.50										
	9					腐灰								
	10						全体に粒子不均一 な中砂を所々粘土と介在する	密な						
	11					中砂								
	12						含水少ない 雲母片混入 色調一定せず	非常に密な						
	13					暗茶褐								
	14	14.85	14.50	6.40										
	15					茶褐								
	16						含水量少ない 粒子均一な細砂 で雲母片混入 粘土レンズ状に介在する	非常に密な						
	17					細砂								
	18													
	19					黄灰								
	20	20.78	20.43	5.93										
	21													
	22													
	23													
	24													
	25													
	26													
	27													
	28													
	29													
	30													